

【食育・西条市】 NPO法人 西条加茂蕎麦くらぶ <http://www.kamosoba.jp/>

魅力あふれるふるさとづくり 「団塊世代の発端」

西条生まれで祭り育ち、水路で学び映画館で夢を見た少年時代。森林と水、干潟で日が落ちるまでよく遊び、就職で西条を離れる時も故郷の自然が頭の中から離れませんでした。そして高度成長時代を突っ走り、51歳を機に社会に飛び出しました。

そこで先ず自分探し、何が変ったのか？故郷を知る事から始めました。子供頃に行動した所を隈なく観察し、魚が住まなくなった川、40年を経ても黒く異臭を放つ干潟、加茂川はゴミの山でした。「石鎚水源の森くらぶ」と出会い、新たな別の「人種」を知り、幅広い趣味の世界を持った人々に教えられ、どんどん仲間が広がりました。地域で50歳を過ぎて職を得る事の厳しさも学び、こうして地域の現状・実情を知る事は、かけがえの無い経験となり、西条は田舎だと言う事を客観的に見るができました。

やがて仲間と中山間地の不耕作農地を

借り「加茂蕎麦くらぶ」がスタート。転機は'04年、四国地方を襲った台風によって無残にも蕎麦畑が流され、これが発端となり若いスタッフが「今までの楽しい蕎麦作りと食事会をどのように残し、伝えていくか」翌年の蕎麦作りに向けて、



西条加茂蕎麦くらぶの活動 そばづくり体験の仲間たち

高橋 啓二
NPO法人
西条加茂蕎麦くらぶ

採算性・安全性・食事・トイレ等も含め様々なアイデアを盛り込みチームワークが一気に集約、延べ約260名の参加を得る事ができました。

この素晴らしい緑あふれる四国で生まれた事を大切にしたい。与えられる前に与える「人」の大切さを実践し、年間20万人にお接待をしている八十八カ所というネットワークの中には、「心」と「癒」と「食」の宝が埋もれています。我々団塊世代が「発端」を生み出さなければ、益々過疎化します。国道194号線の「日本人の心、原風景」の中で活動している我々が、地域の原動力になる事が必要だと改めて考えています。